

63  
/100

加賀  
戰鬪  
機隊  
空戰  
記  
(於中支・南支)

自  
第六  
至  
第十  
回

1233

第六回 九月十九日午前南京上空ノ空戦

〔編制〕

操縦者 小田ニ空曹

〔任務〕

第一次南京制空

〔兵力〕

制空隊總機數四十五機中一機  
(九六式艦上戦闘機一機)

此迄ニ我海軍航空部隊ハ爆撃及空戦ニ依リ二百機以上ノ敵機ヲ爆破又ハ撃墜シ敵ノ中堅飛行機及搭乗員ノ大半ヲヤツ付ケタガ尚殘リノ若干機數ハ時々上海方面ニ現ハレ猶ガ子ヨカイヲ掛ケル様々オソカチビツクリノ爆撃ヲヤツテハ腕鬼ノ如ク逃ゲ歸リテ行リ

(宗美齡ノ命ニ依リ嫌々ナガラ出て来ルベカラウ)  
 敵ノ爆撃ノ例ノ通り一向命ナシシテイガ其ノ代リ敵ノ足ガ早  
 為容易ニ之ヲ捕ヘルコトガ出来ナイ又紛當リト云フコトモアル  
 此處ニ於テカ断乎トシテ敵ノ首都南京上空ニ積極的ニ進出スル  
 親視ノ内ニ敵空軍ノ本據ヲ一蹶ニニ覆滅スルコトニ決セシメタル  
 数日前カラ土砂降り、雨デ此ノ空前ノ歴史的太北空ヲ敵ハ  
 スルニ適セス日延ベ日延ベト云フタガ愈々其ノ日ハ長ク  
 九月十一日午前八時(我が軍艦旗掲揚ノ時刻)雲一次ニ空  
 際四十五機ノ爆音高ク勇躍快靑、靑空ニリス航空基地ヲ  
 襲進シタ我ガ小田ニ至曹モ本日、此ノ晴レノ大北空ヲニ奪カスルノ光榮  
 ニ浴シタリテアル  
 南京ノ東方約二十哩ニ在ル句容上空ヲ通過シテカラ間モナク  
 午後十時頃高度四〇〇〇米デ南京ニ迫リツ、アル時、

1235

右前下方ニ敵戦闘機三機編制ニ箇小隊計六機ヲ奔見シタ  
僚隊四機ニ續イテ直ニ全速突進 敵一機(米國製ホーイダ戦闘機)  
ヲ目掛ケテ殺到シタ  
敵ハ我ヲ奔見シタト見エ盛ニ右ヤ左ニ急激ナ回旋ヲヤリテカラ  
ドシク逃ゲ出シタガ我が後速ノ為間モテク追ヒカレ遂ニ敵ハ  
ト思ツタリ 断乎ヤケクソノ反撃ヲヤリ始メタ 垂直面ノ已戦トシメ  
敵ハ時々横転ノ様ナモノヲヤルベテニ三回有効ナ射撃ヲ失シシカ  
交戦約一分半ニシテ遂ニ完全ナ射撃対峙トナリ 射撃一  
ダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダ  
命中シタラシイ 敵機ハヒヨクト機首ヲ上ゲタカト見ル間ニ  
ガタリト失速トナリ、垂直降下ノ儘墜落シテ行ツタ  
之ヲ確メ様ト思フテ見テ居ルト バラバラノッ弾ノ音  
素早ク上方ヲ見ルト右前上方カラ 敵「カーチス」ホーク「三ツエ  
戦闘機」一機ガ我ヲ射撃中

直ニ反撃一 切り返レテ見ト敵ハ過速ニ為前ニシテ見  
 デハナイク 「チヤシス」トバカリ第一撃ヲダダダノクハシ  
 残念一 致命部ニ命中セズ 敵ハ迫近リテ以テ引起レ反撃  
 レテ来タ何ヲツトバカリ直ニ追蹙 切り返シ第一撃ヲダダノクハシ  
 ホシニ至近ノ距離一 曳跟弾ガ敵ノ操縦席ニ入ルト見ル間ニ  
 敵機ハ「バフ」ト火焔ニ包コレタ  
 敵機ハ見ル間ニ左ニ傾キ次イテ脊面トナワタ 操縦者ハ座席内カラ  
 燃エテカラ落下シタ 暫クレテ落下今ハ聞イタガ其後ノ消息ハ  
 不明デアアル  
 右ヲ終リ高度三〇〇〇ノ果ニテ南京上空ニ差掛ル途中「フト」前方ニ  
 我が九五式水偵一機ト交戦中ノ敵戦闘機一機ヲ発見一  
 敵ハ伊國製「ファイヤット」戦闘機デアルガ我が水偵ト一上一下略對等  
 ノ空戦ヲヤツテイル

コレハイカント直ニ之ニ協力突進！  
 敵ハ我ヲ奔見シタト見エ全速カデ逃ゲ出シタ 何ヲ逃ガレテタルベシト  
 追求スレバ敵ハ健業ニモ斜 宙返リニテ反撃テシテ来タ  
 何ヲワトバカリ 敵ノ宙返リノ頃真直前第一撃！  
 ガダククククノシー・見事命中！ 敵ハ發動機ノトコロカラ  
 ヲバツト火ヲ吐イタ シマフト思ワタラ直グ消エタ 又吐イタ  
 消テハ吐キ消エテハ吐キシテ居ル間ニ急ニ猛烈ニ燃エ始メ其儘  
 火焰ニ包マレテガラ隊エ落シテ行ツタ  
 此レデヨレト更ニ敵機ヲ捜シ求メタヤレド南京上空見エモハ  
 唯味方ノ飛行機バカリデアツタ

〔戦果〕

被	兵	敵	我
害	力	三	一
敵		三	
①		隊	
		エ	
		二	
		機	

第七回 九月十九日午後南京司谷上空ノ空戦

〔編制〕

指揮官 中島大尉

小隊	一 番 機	二 番 機
一	中島大尉	福葉二空曹
二	山下中尉	

〔任務〕

第二次南京制空隊ノ一部

〔兵力〕

九一式艦上戦闘機 三機

第二次南京制空隊ハ午後三時殘敵ヲ數手滅スベク某基地ヲ出奔シタ  
 我中島大尉ノ指揮ニ戦斗機三機ニ爆撃機ヲ掩護シテ南京  
 ニ向シタ 南京ノ敵飛行場近クニ差掛リタ時(高度四〇〇〇米)  
 中島小隊ハ南京上空整然中ノ敵「カ」ヲ木ノクニ三型戰鬥機  
 二機ヲ下方ニ奔見 直ニ突撃ヲ開始

(敵ノ高度約三五〇米) スルト敵一機ハ早クモ我ヲ奔見急降  
 下全速ヲ以テ逃ゲ出シタ。何ヲ逃ガレテタルベキト中島機ハ全  
 速デ之ヲ追撃シ、ガが仲々追ヒ付カナイ。  
 其ノ以敵機ハ高角砲ノ中ニモグリ込ダ敵ハ敵味方ノ正射  
 高角砲ヲドンク打テ出シタ中島機ハ之ニ屈セズ尚モ高角砲  
 彈ノ爆煙ノ中ヲ著進シ高度一〇〇〇米位迄追蹊シガ此ノ時  
 「オーバースピード」ノ為(三三節ヲ突破シテ居ッタラシ)發動機ノカバ  
 ーコケレトリ大震動ヲ生ジ照準不可能トナツタ為追撃ヲ断念  
 スルノ已メテキニ至ツタ  
 稲葉機モ直ニ他ノ一機ニ殺到シタガ此ノ敵ハ未ダ我ニ照準が付カナイ  
 ラシイ及航接敵ヲ以テ敵ノ後上方ニ切り返レ正射撃ヲシセラトシタ  
 時敵ハ氣が付イタラシイ。敵ハバット左ニ急反転約三十度降  
 下ヲ以テ逃ゲ出シタ  
 スカサス敵ノ左後上方ヨリ第一撃——  
 見事——命——



敵ハソリンヲ噴キ出シト同時ニ敵ノ右ニ反転  
 此處ヲ更ニ敵ノ右後上方ヨリ第二撃ヲ一ノ敵ハ左ニ切リ返シ  
 ナ格構ニテソク更ニ第三撃ヲ一ノ敵ハ先ニ左ニ切リ返シ様ニ見エタガ其儘左鉅掠トナリ飛行場  
 東方約三〇〇米ノ川ノ傍ニ降エ去レタ  
 反撃時間約二分  
 山下機ハ南京上空ニ於テ下方ニ味方水上偵察機四機ガ敵ノカーブス  
 ホーク三型戦機一機ト交戦中ナルヲ發見此ノ時山下機ノ高度  
 約四〇〇米直ニ援助セント急降下中多ニ發動機不調トナリ  
 大震動ヲ生シタ為ニ已マテク空戦ヲ断念其地ニ単機引返ス  
 針路ヲ東ニトシタ  
 (此ノ時敵戦機ハ我水偵撃隊エセラレノブダイクトナリ墜落  
 搭乗者ハ落下今ヲ降下シタガ破口ヲ生ジ完全ニ開カス遂ニ其儘  
 墜落シタ)

高度ヲ下ケケ容上空附近ニ差掛ツタ時震動稍止ツタ  
 山下中尉ハ我航空部隊行動開始以來我戦機隊中斷然  
 鮮ヲ抜イテ數多ク戦場ニ出陣シテ居タガ不運ニ未ダ一度之敵  
 機ヲ見テ居ナイハ隊長及他ノ各隊士連中ハ夫レゾレ五ノ飛  
 中島圓珍<sup>マルケン</sup>進路<sup>ダガラス</sup>偵察<sup>ダガラス</sup>敵機撃墜ヲ記念スルニ相應ハ  
 「ニツク、ネーム」ヲ附セラレテ居ルが未ダ一度之敵機ヲ見テ居ナイハ  
 中尉ハ山下無敵ト謂フアリ蓋シカラサル「ニツク、ネーム」ヲ用意  
 居タ、此ノ行名「ニツク、ネーム」ト断然引キ返シ再ビ  
 針路ヲ向ケ高度ヲ執ツタ間モナリ前上方距離約一〇〇〇  
 約五〇〇米ニ反航スル三機編隊ニ箇小隊計二機ノ敵機ヲ見  
 直ニ全速カヲ以テ突進（此ノ時山下機ノ高度約三〇〇  
 距離約一〇〇〇米トナリタ頃敵先頭小隊一機ハ我機隊  
 信號ト同時ニ我ニ後上方攻撃ヲ對執ルヲ以テ突進シテ  
 敵ニ番機ノ突進シテ来ルが見エタ山下機ハ不利ヲ對執  
 六上

已ハナキニ至ツタカ 腕ニ覺エテアル山下中尉ハ敵機ノ過速ヲ利用スベク  
 直ニ急降下ニ移リ先ヅ敵ヲ追蹊セシメタ  
 (但シコレハ危険ナ戦法アル)  
 敵機ガ射距離約三〇〇米ニ接近シタル頃急激ニ左斜宙返リニ引  
 起シ次イテ左ノ輕イ旋転デ下方ヲ見タ時我が戦法効ヲ奏シ  
 敵機ハ則方ニノトリ直ニ追蹊ノ對勢トナツタ  
 敵機ハ此ノ時宙返リヲ以テ離脱シヨウトシタガ 殆ンド完全ニ追尾トホタ  
 儘我亦宙返リヲ以テ之ヲ追蹊 敵機ガ宙返リヨリ引起サルトシタル處  
 ヲリ連續射撃開始シ 敵機ハ宙返リノ頃矣附近ヲ座席附近  
 カラ破片ガ飛散スルト見ル間ニ急激ニ左斜操ミトナリ 其ノ儘墜  
 落シテ行ツタ 彈ハ見事敵ノ操縦者ニ命中シタラシイ  
 此レデヨシト敵ノ二番機ト交戦スベク上方ヲ見タガ 見當ラナイ下方ヲ  
 見タリ 残り五機ハ遠カ〇〇〇米以上ノ距離ニ避退中テアツタ  
 更ニ之ヲ追撃シヨウトシタガ 空戦中 弁動機ノ振動更ニ加フタ爲

已<sup>レ</sup>テ<sup>ク</sup>基地ニ引返シタ 交戦時間約二分

〔戦果〕 交戦兵力 敵五 我三

損 失 敵二墜落 我〇

(註)

山下中尉空戦記事中の〇ヲ附シタ處ハ敵機ニ付テ、  
部外ニ〇〇トシテ出サレ度

第八回 九月二十日 南京上空、空戦

〔編制〕 操縦者 半田一宣曹

〔任務〕 南京攻撃隊、掩護

〔兵力〕 掩護戦斗機隊中、一機

(九六式艦上戦斗機)

半田機ハ第四次南京攻撃隊ニ加リ九月二十日午前十一時三十分  
勇躍某基地ヲ發進シタ 此ノ日天候快晴 絶好ノ空戦日和  
ナルニ午後一時高度三五〇米ヲ南京上空ニ差掛ツタ時上空約  
五〇〇米位ノ處ニ敵戦斗機一機ヲ發見シタ 敵ハ我攻撃機隊  
ヲ攻撃シシカシカトフラクトマゴツイテ居タガ 其ノ以反轉シタカ  
ト見ル間ニ急降下ヲ以テ能ゲ本シタ 我ヲ發見シタラシイ

此頃ハ敵戦機ハ低翼單葉ノ我九六式艦戦ヲ見タリ直ク逃ゲ出  
 ト云フ始末ヲ捕ハル事ガ六ノ數シクサワテ来タ  
 何ヲ逃ガシテタルモノカト直ニ追蹙敵ハドンク逃ゲテ行ク  
 我優速ニ追ヒシメラレ距離ハ次第ニ縮ワテ行ク高度亦ノ米  
 位ト云々頃距離約二〇米トナリタ敵ハ逃ゲ延ビル事ガ出来ナイト  
 観念シタカ左旋回ノ急上昇ヲ以テ反撃シテ来タモワテノ急ニ距  
 離ハ急ニ縮リ又絶好ノ射撃ヲ對執カトナリタ一撃ダダク  
 見事命申一敵機ハ火ヲ發シタカト見ル間ニ緩徐ノ左傾  
 トナリ南京ノ南方小高い山隊ニ落爆後朦々タル黒煙ガ立上リタ  
 先ヅ此敵ハ此レヲヨシト再ビ攻撃機ヲ掩護位置ニ就クト上昇中  
 高度約三〇〇米ニ達シタ頃フト前方ヲ見ルト敵戦機一機ハ北ニテ  
 行クデハナイカ「チヤニス」トハカリ直ニ追蹙  
 敵ハ急降下全速カラ以テ死物狂テ逃ゲテ行ク見ル高度ハ下リ

山ニシテトナフタ 敵ハ仕方ヲ緩徐ニ起シ始メタ 再び絶好ノ身撃  
 對勢—— 第一撃ガ多クシテ——  
 是事命中心—— 敵ハ相俦ヨリコソリシテ噴キエシタト見ル  
 間ニ左ニ傾キ急ニ速カガ減リ忽チ棄越シテサリニナリタ 直ニ右ニ引キ  
 起シ敵ノ右後上方ヨリ第二撃 敵ハ左ニ傾イタ儘左ニコリヤカラ  
 次第ニ高度ガ下テ行ク 其ノ内山ニ左翼ヲ拂ヒタカト見ル間ニ横ソ  
 飛ビニ顛覆、同時ニ火ヲ發シ火事ノ如ク真紅ヲ燭ラ揚ゲテ燃ヒ  
 出シタ 更ニ敵戦斗機一機ヲ求メ此レアドンク—— 追蹶シタガ敵到々  
 南京ノ西方揚子江上流ニ澤山迄シテ碇泊シテ居ル外國軍艦ノ上  
 空ニ飛ゲハンダ (此ノ時彼我共ニ高度約二〇〇米此レ迄ニ追尾テ數回  
 射撃シタガ此ノ敵ハ運ヨクモ仲々落チナイ)  
 此ノ野郎トバカリ外國軍艦ノ上空ヲグルク—— 飛ゲ廻ル敵ヲ尚モ追  
 撃シタガ其ノ向方々ノ軍艦ガ我ヲ猛烈ニ射撃ヲ始メタ

嗚呼

残念

〔戦果〕

遂に凌ぎ飲んで引上ぐ

兵力

敵

三

我一

損失

敵

二墜落

我〇

(2)



第九回 十月七日 韶州上空ノ空戦

〔編制〕 指揮官 新郷中尉

二	一	小隊
半田一空曹	新郷中尉	一番機
江馬三空曹	小田二空曹	二番機

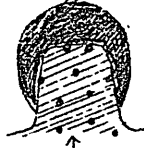
〔任務〕 攻撃機隊ノ掩護

〔兵力〕 九式艦上戦闘機 四機

十月上旬ヨリ我航空部隊ハ南支ニ行動スルトニナリタ  
 其レテ先ヅ南支ニ於ケル重要飛行場ヲタル韶州飛行場ニ對シ  
 空襲表ガ開始セラレタ  
 (韶州ハ廣東河ノ奥地約百五十哩ノ處ニアル)

午前九時四十五分新郷中尉指揮九六式艦上戦闘機四機攻撃  
機隊ヲ掩護シ爆音勇シク母艦ヲ襲進シタ  
此ノ日天候曇り満天雲ニ被シ雲高約一七〇〇米午前九時四十五分  
高度約一四〇〇米ヲ以テ詔海上空ニ差掛ツタ時新郷小隊ハ前方  
雲ノ下際ニ敵戦闘機三機ヲ発見  
（此ノ時我攻撃機隊ノ飛行高度約一〇〇〇米）其ノ以敵先頭ノ  
二機ハ反航接敵ヲ以テ我攻撃機隊ニ殺到シ左ニ切返シテ後上方  
攻撃ニ移ラントシタ  
攻撃機隊危シ  
此ノ時攻撃機隊ノ左翼ニ在ツタ新郷小隊ハ素早く接敵敵が  
後上方ニ這入りカケタ處ヲ新郷機ハ敵ノ一番機ニ對シ小田機ハ敵ノ  
二番機ニ對シ一斉攻撃シ、  
味方ハ危急ヲ救ハント急イテ射撃シタ為射距離稍遠ク有効弾  
ナシ、ガガ此ノ射撃ニ依リ敵ノ一番機先づ周章テ、辟退シ、

宙返リヲ以テ様子ヲ見ヤラトシタ新郷機ハ直ニ之ヲ追蹊スルト  
 スト敵ハ急降ヲ以テ逃ゲ出シタ新郷機ドンクニ之ヲ追蹊手ニ  
 敵ハ無茶苦茶ニ横転ヤラ急旋回ヲヤリナガラ死物狂デ唯逃ゲル  
 一手約十發位死敵運動立直ルトヨラ至近ノ距離ヲ數回  
 打ツガ照準ガ外レ仲々落チナイ  
 敵機ハカーテスホークニ型(三型ヨリ稍旧式)脚ヲ出シテ(店ル)胴体ニ  
 明ニ $\infty$ ト書イテアル其ノ以敵ハ急激ノ運動ノ為疲勞シタラシク  
 直進シ始メタ「ヤヤス」トバカリ  
 彈丸ハ見事敵ノ操縦者ニ命中  
 數發彈痕其ノ射撃技術優秀ナルヲ示スカ如ク敵操縦  
 席後部後方防禦物ニ數發歴然ト破口ヲ印シテ居ル



敵操縦者ノ頭

後方防禦物

敵機ハツバツト火ヲ吐イタ 火ハ直グ消エタガ次第ニ右鉦操ミ入り  
 其ノ儘隊ヲ倍スルカト思ツタガ右鉦操ミガ一旦止ツタ後今度ハ反對  
 ニ左鉦操ミ入りフレガ又直ツテ緩降下トナラテ間モナク其ノ儘  
 韶州西方ノ山腹ニ墜落 兩翼ハ空中高ク舞ヒヨリ胴体ハ  
 粉砕シタ  
 小田機ハ敵ニ番機ガ我攻撃機隊ニ對シ後上方攻撃ニ入ラトス處ヲ  
 側下方ヨリ第一撃ヲ放ツタ 射距離稍遠ク有効彈ヲ得ズ  
 敵ハ周章テテ直ニ急降下ヲ以テ逃ゲ出シタ 之ヲ追撃シヤウト  
 シタガ半田小隊モ上方ニ敵機ヲ發見シタラシク一齊ニ上方ニ向ツタ  
 攻撃機隊ガ空ニナルヲ慮レ 單機掩護位置ニ跳ミ止ツタ  
 攻撃機隊ノ右翼ニ在ツタ半田小隊モ新郷小隊ト殆ド同時ニ更ニ  
 敵機中機ニ機ガ我攻撃機隊ヲ攻撃シヤウト反航シテ東ルヲ右上方  
 ニ發見シタガ掩護位置ヲ空ニスルハ危險ト暫シ止ツテ居タ

其ノ内敵ノ機ハ我ヲ發見シテラシク急ニ反撃、我攻撃隊ノ右方ニ飛  
出シタ。左方ヲ見テ味方戦機ニ機掩護位置ニ在ルテ断り手追  
撃ヲニ決シ之ヲ追フタ。距離ハドンク縮ル敵ハホーククニ刑  
（三型ヨリモ速カクサシ）敵ハ敵シト観念シタカ由返リヲ以テ反撃  
シテ東タ一回！ 二回！ 三回！ 敵ハ由返リヲ止メ三十度位ノ  
緩降下ヲ以テ逃ゲ始ナル處ヲスカズ一撃手！ 命中！  
敵機ハ洞穿ノ西側カラ火ヲ吐キテガテ敵機ノ東方ニ支流ノ合ハサワ  
處ノ川ノ右岸ニ墜落。江島機ハ敵ノ残り一機ガ高度ヲ下ゲテ我  
攻撃機隊ニ對シ前下方ヨリ接敵シ来リ後下方ヨリ突進スルトコヲ  
敵ノ後下方ヨリ追尾テ第一撃手！ 敵ノ操縦席ノ右肩ノ處ヨリ  
命中弾ヨリ破片ガ雨ノ足ノ様ニ立上ツタ  
ガ惜シイ哉 敵ノ操縦者ヲ離レト僅カニ十粒 其ノ内味方攻撃機  
ノ旋回鏡ガ打テ始マラト見エ其ノ曳跟弾ガ盛ンニ飛ンデ来ル

最少ノト謂フトゴデ已ニテヲ射撃ヲ中止離脱コト殆ド同時ニ敵ハ  
 左ニ反転シテ出シタ直ニ之ヲ追蹙シタトシタガ更ニ新敵一機ガ  
 攻撃機隊ノ左後下方カラ我攻撃機隊ヲ攻撃シタト上昇中ニテ  
 発見直ニ目標変換之ニ殺到シタ敵ハ下方ヨリ我ハ上方ヨリ反  
 航戦トナフタガ早クモ敵ハ後ヲ向ケテ出シタ直ニ追撃手——  
 次ノ瞬間ダダダ——ン——後方ニ機銃弾ノ音——  
 後上方ヲ見ルト敵機一機我ヲ射撃中——  
 更ニ目標変換断乎反撃手ニ転ジタ此ノ敵モ亦早クモ出シタ  
 (ドウモ敵ハ奇襲表ト出走トシカ知ラナイラシイ)  
 今度コソハ出ガセント右々左々急反転ノ様ヲ無茶苦茶ヲ操縦ヲ  
 ヤリテガテドン——出ゲル敵ヲ一撃手——ニ撃手——  
 ガガ有効弾ナシ距離ハドン——縮ル目取クレトイフ處デ敵ガ  
 右ニ急反転ヲ行フ際思ハズ乗リ越シテシマフタ

丁度此ノ時！

味方攻撃機隊が爆撃ヲ終了シ悠々引上げソツアツタガ此ト逸ル  
 駒ノ手綱ヲ締メテカラゲソト掩護位置ニ踏ミ止ラテ居タ小田機ハ當リ  
 ニ敵機ナクモハヤ安全ト殘敵ヲ求メソツアル時江馬機ノ交戦中ヲ  
 發見直ケニ之ニ投ジ協同攻撃ヲ！ 江馬機が敵機ヲ棄リ越シ  
 ト言ラ間髪ヲ入ズ敵ニ追尾シタ敵ハ高度ヲ下ゲソツ全速ヲ  
 ドンク逃ゲル數回打ツタガ仲々落ケナイ  
 其ノ内高度ハドンク下リ韶オ東方ノ山スレクトナツタ  
 (山頂ヨリノ高度約五〇米)敵ハ此ノ山ヲ避ケヤソト右ニ旋回ヲ始メ  
 絶好ノ射撃姿勢 だだ ン  
 確カニ手懸ヘガアツタ 急ニ敵ノ速カガ減ツタ 見ル間ニ追ヒカサリ  
 サラニナツタ直ニ上方ニ離脱シ敵ヲ見ルト 敵ハ右ニ緩ヤカニ降下旋  
 回トナリテカラ田圃ノ中ニ墜落 同時ニ爆發火ヲ發シテ燃ヘ  
 上ツタ

1255

敵機ハカーチスホークニ型 胴体ニハW—ト書イテアワタ—  
 此ノ前半田機ガ敵機ヲ撃墜シテ掩護位置ニ就カントシタ時、  
 ガダダダダ—ノ音ト上方ヲ見ト敵機ニ機ガ  
 半田機ヲ攻撃中 直ニ之ヲ反撃— 敵ハドン— 逃ゲ出シタ  
 此ノ時一度敵機ヲ小田機ニ譲リ掩護位置ニ就キツアワタ 江馬機ハ  
 半田機ヲ攻撃中ノ敵機ニ機ヲ認メ全速カデ之ニ殺到—  
 半田機ニ協力— 敵ニ機共ドン— 能ゲル半田機ハ右方ノ敵 江馬機  
 ハ左方ノ敵ヲ追ツタ 半田機ノ追ツタ敵ハ間モツク雲ノ中ニ逃ゲハシタ  
 半田機ハ追撃ヲ止メ掩護位置ニ就イタ 江馬機ノ追ツタ敵モ間モツク  
 雲ノ中ニ入ツタガ其ノ雲ハ案外薄ク敵モ我モ直グ雲カラ出タ  
 敵ハ敵シト思ツタク反撃シテ来タ 敵ガ矢速反転テ切り返シ降  
 下シ次イテ上昇シテ来ルトコロ 敵ハ脊後ヨリ一撃—  
 見事命中— 敵ノ操縦席ノ右肩カラ火ガパフト上ツタ



14

敵機ハ右ニグツト機首ヲ上ゲタカト見ル間ニ左ニ顛倒續イテ錐探ミ  
 ナワタ欺マサレテハカチト之ヲドク追蹊高度ニ〇〇米位追  
 追ワタモウ宜シト引起シテ見タラ敵ハ詔あり南東方山ノ麓ヲ  
 流レテ居ル小河ノ圓ク曲ワタ中ニ在ル赤イ屋根ノ洋館ノ傍ニ墜  
 落シタ  
 新郷機ハ敵機ヲ撃隊エシタ後掩護位置ニ就キソアル時敵機中機  
 一機ガ向ワテ来タ他ニ我攻撃機隊ノ攻撃シテ居ル敵機ヲケレバ之ヲ  
 攻撃シヤト思ワテ居ル時敵ハイキナリ前上方遠方ヨリ射撃シタ  
 其ノ三弾ニ七耗セハ左翼端ニ命中！此ノ野郎トばかり断乎反  
 撃手ニ決シタ敵ハドンク追ゲル到々敵飛行場上空高度僅カニ  
 五〇米位追蹊飛行場上空低空ヲグル廻ル敵ヲ見サント  
 謂フト追蹊と縮マタガ猛烈ニ打テ出ス敵砲火ノ為ニ引上  
 ゲタ命真加ナ敵デアル

1257

此度ノ空戦ハ實ニ今夕空戦デアツタガ我戦斗機隊ハ緊密ナ  
協同動作ニ依リ掩護ト謂フ重任ヲ負ビナガラ能ク戦果ヲ全ウシタ  
（本空戦後約二十日間南支行動中敵機ハ一機モ飛上ラズ来ナカシタ）

〔戦果〕

兵力 敵五 我四

損失 敵四墜落 我〇

(終)

第十回 馬鞍嶺島北方海面上空ニ於ケル空戦

〔編制〕

指揮官 蝶野一空曹  
二番機 日高三空曹

〔任務〕

軍艦加賀ヲ爆撃シニ来ル敵ノ一スロツク  
爆撃機三機ノ攻撃

〔兵力〕

九一式艦上戦闘機二機

八月十五日我航空部隊が空襲ヲ開始シテ約三箇月、既ニ戦場上空ノ制空権ヲ確保シ殆ド総テ人ノ艦裡カラ敵機龍巻来、観念が消へ去ラントシタ時、突如敵飛行機三機ハ生意氣ニ帝國最大ノ航空母艦タル我軍艦加賀ヲ空襲シタ。否空襲ト謂フヨリハ航空母艦ヲ見テ周章ヲテ爆弾ヲ棄テタト謂フ形ダ

偏彈實ニ約五〇〇米――

此ノ海面一帯ニ鯨ガ潮ヲ吹イテ泳イデ居ルガ音モシナイノニ水柱ガ上ツタ  
テ其ノ鯨カト思フタ位ダ（大部分盲目彈ラズ然ラズ燒夷彈アル）  
何ヲ小癩ナト機銃及高角砲ガ一斉ニ口蓋ヲ切ツタ善イ處ニ機銃  
ノ曳跟彈ガビエービエート飛ンデ行キ又高角砲彈ガ炸裂スルガ  
仲々落チナイ其ノ以甲板待機中ノ戦機ガ爆音高マシク総員  
聲援裡ニ母艦ヲ焚燬シ全速カデ逃ゲ行ク敵ヲ追蹙シタ  
時ニ十時二十八分

此ノ日天気晴大キナ積雲ノ層ガ高度三〇〇米附近ニ横タハツテ居ル  
敵ハ此ノ積雲ノ下ニ向フテドーン／＼逃ゲテ行ク此ノ敵逃ガシテタコル  
モカト日高機ハ全速カデ追蹙又追蹙遂ニ十時四十五分頃敵編隊  
ヨリ稍遠レテ居ル敵ニ番機ニ追及敵ノ左後下方ヨリ猛然ト突進シタ  
距離約二〇〇米――

敵、後方銃射手、打テ出ス、或跟弾カビツ、ビツ、ハ猛烈ニ飛ンデ  
 来、日高機ハ此、彈九兩飛、間ヲ悠々、迫第一撃ヲ喰ハシクガ  
 彈ハ敵、致命部ヲ外レタラシ、其、ハニ餘速、餘ヲテ右上方ニ飛ビ  
 上ツタ、瞬間——、速——、右旋、轉——、  
 敵、後方銃射手、銃、指向ニ餘裕ヲ與ヘズ、敵、右後下方ヨリ、  
 第二撃ヲ、ダダ、  
 敵ハ真紅、煙ニ包モレタ、敵ハミル、右ニ傾キ始メタ、敵、後方  
 銃射手が落下介テ飛ビ出シタ、高度約一五〇〇米、  
 敵ハ火焔ニ包モレガ、右ハスバイラルダ、儘大爆音ト共ニ海中  
 ニ突入直ニ沈没シタ、交戦時間僅カニ約三十秒、  
 日高機が攻撃ヲ開始シタ頃、敵一番機ハ左方ニ三番機ハ右方ニ  
 編隊ヲバラク、ニ解イタカ、日高機ハ敵ニ番機ヲ數テ墜ス、殘敵  
 ヲ捜シ求メタ時ハ何處ニ逃ゲタカ姿が見エナカッタ

1261

蝶野機ハ日高機ノ左側方ヨリドンク上昇敵ヲ追ヒ高度三〇〇〇米  
 雲ノ上ニ出タガ敵ヲ見失フテレマツタ  
 敵ハ雲ノ下ニ出テカト思ヒ高度ヲ一〇〇〇米位迄下ゲ雲ノ下層ニ出  
 タガ敵ノ姿ガ見えニヤク再ヒ雲ノ上ニ出テ敵ヲ捜サント雲ノ切レ間カ  
 上昇中ノ高度二〇〇〇米ニ達シタ頃フト前上方距離約五〇〇〇米位  
 ノ處ニ味方ノ戦機ヲ見シモノ一機ヲ認メタ時ニ約十時五十分  
 蝶野機ハ之ヲ日高機ト思ヒ編隊ヲ制ツテカラ更ニ敵ヲ捜サント  
 接近シタカ何ト其ノ飛行機ハ此ケルガ如ク前方面ニドンク行クデハ  
 ナイカ之レハ怪シイトドンク近接中其ノ飛行機ノ邊カ前方ニ更ニ  
 一機ヲ認メタ此レハ愈々怪シイ先ヅ近イ方カラ確メヨラト全連ヲ追ツ  
 スルト其ノ飛行機ハ高度ヲ下ゲテガラ全連カデドンク逃ゲルデハチカ  
 (ノースロップ機ハ低空単葉デアツテ後方カラ見え具合ハ殆ド我  
 九六式艦上戦機ト同一ノ為識別ハ甚ダ困難デアル)

此ハ愈々敵ニ近キニイリト高ク躍突進シ其ノ内ニ高度ハ五〇〇米位迄下ツタ距離約三〇〇米……其ノ天白日ノコトクガクツキリト浮キ出シタリ此ノ野郎ハ六カリ敵ノ後下方カラ射撃シセツト機首ヲ下ゲタスルト敵ノ後下方ヨリ打タセシト機首ヲ突込シテ全速ノ儘突込シテカラ速カハ勿ク約三百節ニツタ猛烈ノ追撃ヲ戦ダシルヘシ海面スレヘニツタマレハ危険ト直ニ引起シ敵ノ右後方ニ出デ第一撃ダダダダダダダダダダダダ其ノ瞬間敵ハ急激ニ左ニ旋回シタレバ弾ハ致命部ヲ外シタラシ續イテ敵ノ右ニ旋回ス度ヲ肉迫第二撃手……瞬間敵ハボート真紅ト大火焰ニ包コレタト同時我モ亦燃エタカト思フタ直ニ離脱（時ニ高度約一五〇米）敵ノ一人ガ飛行機ヨリ飛ビ出シタヒラヘト落ト今ガ開キ始メタカト思フト同時ニ海面ニ倍テタ（高度が足ラナイ為完全ニ開カカツタノダ）

1263

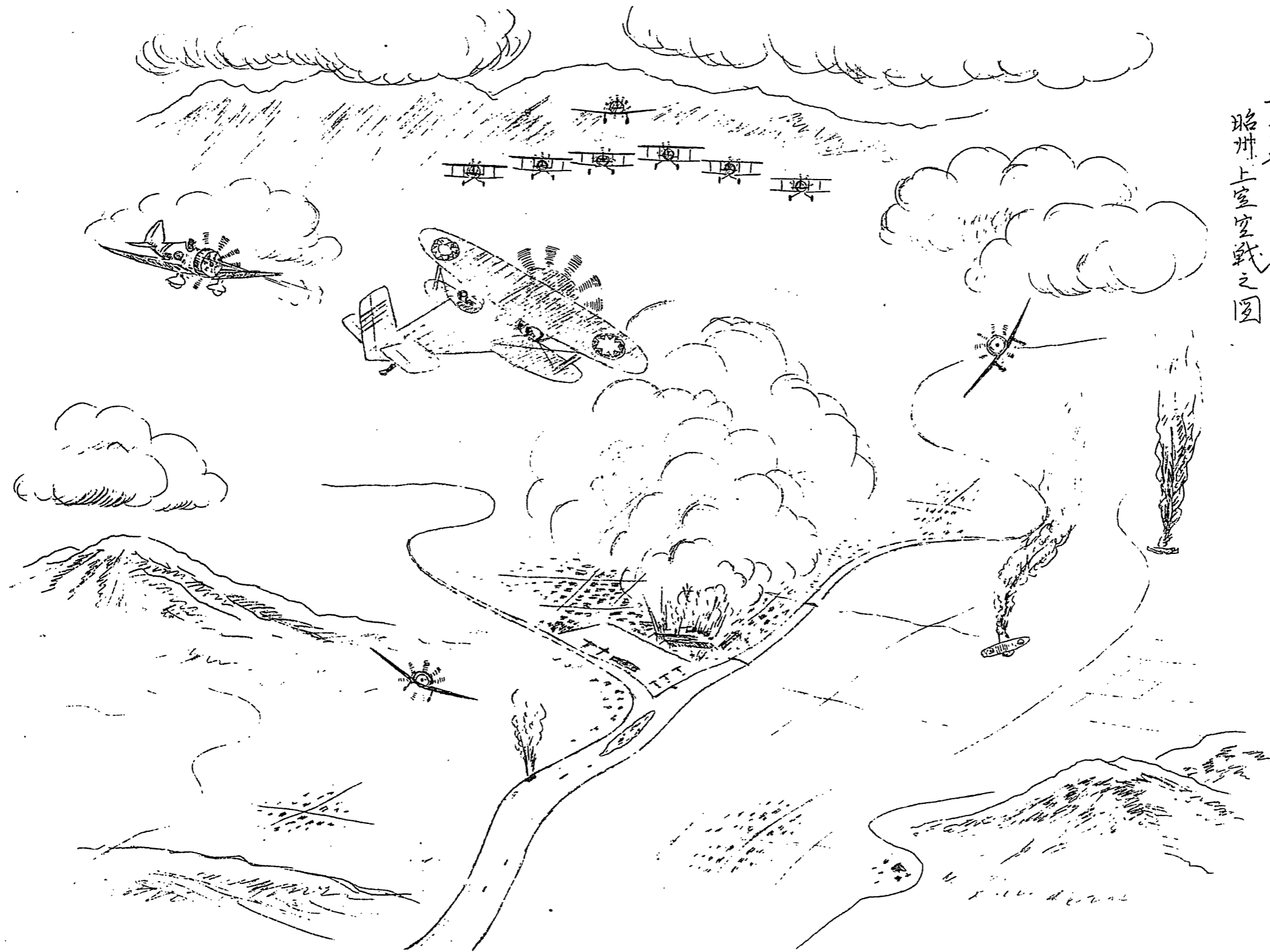
ト殆ド同時ニ敵機ハ大爆音ト共ニ海面ニ突入 暫ラテ 火々ト燃  
 エテ居タ 攻撃時間約一分半  
 此ノ敵機ハ日高機ガ敵編隊ノニ番機ヲ攻撃シタ際 編隊ヲ解イ  
 左方ニ逃走ヲ企テタ 敵ノ一番機ヲレイ  
 更ニ他ノ一機ヲ斬ラテ 捜シ求メタガ遂ニ見當ラテカシタ

〔戦果〕

兵カ	敵三	我二
損失	敵ニ墜落	一逃走
	我〇	

(終)





十月七日  
昭州上空空戦之図